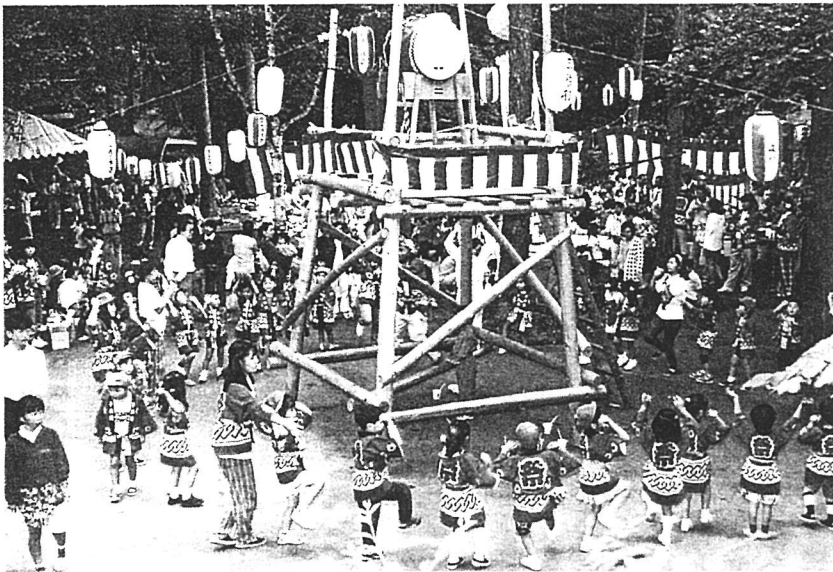


# 夏の風

■発行と編集／  
長門町役場企業課  
商工観光係  
☎ 0268-68-3111(代)  
☎ 0268-68-4011  
題字：北澤貞利町長

今年も例年のとおり、学者村、美し松において夏祭りが実施されることとなりました。その内容も決まってきましたのでここで紹介します。



## 避暑地の夏祭り

### 学者村祭り

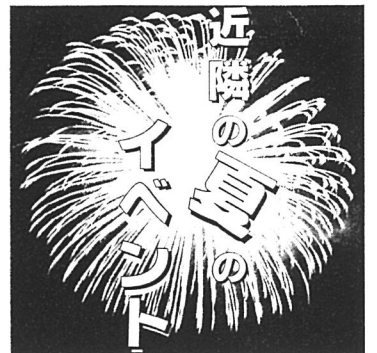
今年で22回を数える学者村祭りを、8月5日(土)に学者村第一期いこいの家前の広場で開催します。例年のように多数のみなさまの参加により、盛大に開催されますよう、ご協力を願っています。

タイムスケジュールですが、午後4時に開会します。あいさつ、鏡割りなどの後、もちつき大会、子ども御輿、カラオケ大会、盆踊りと盛りだくさんの計画をしていますので、ご家族、お友達お誘い合わせのうえ、ご来村いただきますようご案内いたします。

### 美し松祭り

第9回を迎える美し松祭りは、8月12日(土)に、管理事務所前テニスコートにおいて開催されます。こちらも町内会の主催により毎年盛大に行われています。午後4時に開会し、オープニングセレモニーの後、しらかばステージではふれあいゲーム、スイカ割り、バンド演奏が行われ、その後「武蔵山一太鼓」の太鼓演奏が行われます。夏の夜空に轟く日本の太鼓の響きを聞いてください。

武蔵野太鼓の流れをくむ「武蔵山一太鼓」の演奏は、迫力満点！白樺ステージでお待ちしています。



- ◇ 上田七夕まつり [8月5日、7日・上田市海野町商店街]
- ◇ 丸子町納涼花火大会 [8月6日・丸子町総合グラウンド]
- ◇ 上田花火大会 [8月10日・上田市千曲川原]
- ◇ 白樺湖花火大会 [8月10日・白樺湖畔]
- ◇ 女神湖花火大会 [8月11日・女神湖畔]
- ◇ 武石村村民まつり [8月15日・武石村中央商店街]
- ◇ ふるさと宿場みこしIN和田 [8月14日・和田小学校]
- ◇ 上田城かがり火コンサート [8月19日・信州国際音楽村]

### 「水源確保」工事完成

前回の「長門の風」でお知らせいたしました、北ノ入水源から学者村水道第1受水槽への接続工事(総工費約5000万円)が、6月26日に完成し、受水を開始いたしました。

この水源は、皆様方より好評をいただいております1号井戸と同じく、良質の水であります。

すので、今までどおり、美味しい水としてお飲みいただけます。また、平成5年度より実施しております、第1受水槽から第1配水池までの送水管敷設備工事も、本年度で完成させるべく現在事業を進めています。今後、夏の湯水期における水不足も解消いたしますので、ご安心ください。

## ブランシユたかやまスキー場

### 長期計画基本調査報告会

1985年（昭和60年）のオープン以来、10年目のシーズンを終了したブランシユたかやまスキー場。近隣にない林間コース、初級者でも山頂から滑れるコース設計、頂上からの大パノラマなどが好評となり、スキーヤーの人気を集めています。

しかし、競合化するスキーリゾート産業界、加えてここ数年の景気の低迷などにより、将来にわたって生き残るために、「エリア」を含めたスキー場全体についての検討が必要となりました。

そこで、当スキー場の設計・施工を行った西武建設株式会社と長期計画に関する基本調査を依頼し、このたび報告会が行われました。

報告書によると、ブランシユたかやまスキー場の特色（環境、周辺状況、地形など）を活

かした魅力ある施設を付加し、ブランシユならではの特徴を強調した計画です。

●大きな山を最大限に活かし、初心者から上級者まで、すべてのスキーヤーが、より長くコース全体を滑れるスキー場（全長約4km）。

●山頂からの360度パノラマのロケーションをすべての来場者に見てもらいたい（夏期の利用）。

●具体的な将来計画としては、ゴンドラを2基設置することにより、県内をはじめ全国的にみても本格的スキー場の仲間入りができる。

●美しい樹林を生かし、自然と調和のとれた林間コース2本を新設する。

●グリーンデ（スキーコース）に隣接するペンション村を整備

することによって、街並みの賑わいを創り出すとともに、都市郊外型リゾート地を目指します。

などが提案されています。今後、町ではこの報告書を参考にしながら、スキー場の長期構想に取り組んでいきます。



## 町内2か所で

### 温泉掘削

平成6年度事業として町が進めていた、温泉探査の調査結果を受け、いよいよ温泉掘削が始まります。

調査は、昨年10月、鷹山周辺地域と、大門以北の町内の二つの地域に分けて行われました。その結果、ふれあいの郷別荘地南側、県道男女倉長門線沿いの国有地（以下「鷹山地区」と、古町円通寺地籍、通称北の入林道終点付近の町有地（以下「円通寺地区」）で、それぞれ可能性の高い有力な温泉を発見。この夏ごろから掘削が行われます。

事業費はそれぞれ約1億円ずつで、鷹山地区はスキー場特別会計から、円通寺地区は一般会計からまかなわれます。掘削のためのボーリングは、両地区とも、長さ1200メートルを予定しています。

# ながとまちのわだいな

晴れて温水が噴出したあかつきには、鷹山地区はスキー場関連施設などのリゾート開発の一環として、また、円通寺地区では、保健医療福祉施設や一般公共施設など関連づけ、広く町民に活用されるような利用方法を考えていきます。



◆写真は鷹山地区の掘削予定地。昨年完成した「ふれあいの森」の西側に隣接しています。



## 長門の万葉植物

学者村第二期 鈴木 二千六

〔くず〕



我が家の学者村滞在中の散歩コースは、三つある。そのうちの一つは、娘の命名によって「Uの字コース」と言う。出発して家に戻ってくるのに、Uの字に似た道筋を通るからだ。その道では、シロツメクサ・木いちご・山ははこぐさなどが楽しめる。しかし、何といつても夏の終わり頃の「くず」が圧巻である。夕暮れ迫る山道を歩いていると、道が赤紫に染まっている。見ると葛の花である。鮮やかな色あいにはしばし見惚れてしまうことがしばしばである。しかし、この思いは万葉人たちの「くず」に対するそれとは、違うのである。

「くず」は、マメ科のつる性多年草。夏の終わり頃に二十センチぐらいの花序を出し、赤紫の蝶形花を総状につける。万葉集中には、「真葛」「田葛」「久受」などと表記されて十七首の歌があるが、花を詠んでいるのは、山上憶良の秋の七草の歌だけである。

その他の歌は、例えば、

雁がねの寒く鳴きしゆ水茎の岡の葛葉は色づきにけり  
(巻十一二〇八)

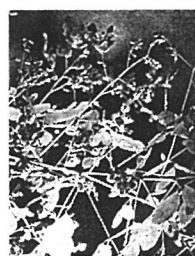
などのように、葉の色づきによって季節の変化をとらえたり、はふ葛の絶えず偲はむ大君の見しし野辺には標結ふべしも  
(太伴家持 巻二十一四五〇九)

などのように、葛のつるの形状が「際限なくずっと続く」意味を引き出して、「絶えず」にかかる枕詞として用いられたりしているのである。夏の終わり頃の散歩の折、濁の花が色鮮やかに散り敷いているのに出会った時、万葉人たちはなぜこれに目を止めなかったのだろうか。少々心許なさを感じていたのであるが、風にひるがえされる葉の動きやつるに這う姿を見ていると、感情の表出に、その形状を巧みに援用している古代の人たちの、確かな目と豊かな心を感じることもができるのである。万葉人たちにとつて、花は興味の外にあつたのではない。切実な感情の表出には、葛のあの形状や姿こそが重要であつたのであろう。今、少し大きめの辞書で「くず」の項を引くと、「くずの裏風」「くずの裏葉」「くずの下風」「くずの葉の恨み」などという、慣用的な表現に出会う。これらも、すべて思いを託すための意味表象が葛の日常的な姿によつていのである。このように見えてくると、万葉人たちの観察の目の確かさには、驚かざるを得ない。

それぞれの歌の意は、前者が「雁が寒々と鳴いてから、岡の葛の葉はめだつて色づいたことだなあ」、後者が「這う

葛のように、絶えず偲びましよう。大君のご覧になった野辺にはしめ縄を張っておくべきであることよ」ほどである。

〔はき〕



山荘での生活では、生き物との対話が楽しいのであるが、その中でも、夏から秋にかけて、ひときはその感が強くなるのは、「萩」と対したときである。我が家の庭でも大切にしているし、村中の道の随所で楽しむことができる。

この「萩」は、万葉人たちにも親しまれたもので、「芽子」「波疑」「波義」の表記によつて、一三首に詠まれている。これは、梅に次いで二番目に多い数である。「萩」は「秋の草」の意の和製字で、山上憶良の秋の七草の歌に、芽子の花尾花葛花撫子の花女郎花また藤袴朝貌の花  
(巻八一五三二八)

とあつて、その秋草の中でも第一のものに目されているほどである。万葉人たちの萩に対する愛着の強さは、ただ詠まれた歌の数が多いということからばかり言えるのではなく、萩を見る目の多様さからもうかがい知ることができるのである。花の散るのを惜しむ歌が多いのも、そのことを物語るものであろう。次のよ

うな歌がある。高円の野辺の秋萩いたづらに咲きか散らむ見る人解しに  
(笠金村歌集 巻二二二二二)

この歌は、作者笠金村が、志貴皇子(天智天皇の第七皇子)の死を悼んで詠んだ挽歌の反歌の一つである。志貴皇子の死は、万葉集によれば、霊龜元年(七一五)九日へ続日本紀によれば同年八月とあつて、はっきりしない。いずれにしても、萩の花の季節であつた。

一首の意は「高円山の野辺の秋萩は、空しく咲いて散っているであろうか。見るべき人もいなくなつてしまつて」ほどである。「見る人」とは勿論、萩を賞美されていた志貴皇子のことである。

万葉集中には、萩を詠んだ地名が二十一箇所あるが、そのうち、高円のものも最も多い。この辺りの萩が殊に一目を樂しませたのであろう。現在でも、「白毫寺」や「新薬師寺」など萩の名所が多い所である。そして、白毫寺あたりは、志貴皇子の別宅があつた所とさえ言われている。だからこそ、金村は、萩を詠むことで皇子への思いを表しているのである。

今、私たちが山道を歩いていて出会う萩に、金村と同様な思いを重ねられるかどうかはわからない。しかし、咲いては散り、咲いては散りする萩に、心の中を見出すことができるとしたら、それもまた、山中での生活の太きな楽しみにはならないであろうか。

## シルバー人材センターの 活用を

シルバー人材センターでは知識と経験のある会員を派遣しております。次のような仕事を引き受けますので、是非ご利用ください。

- 施設管理  
駐車場や自転車の整理・倉庫管理・宿日直など
- 工場内作業  
構内や事務所の清掃・軽作業・雑役など
- 家事手伝い  
掃除・洗濯・介護補助・留守番など
- 屋内外作業  
庭木剪定・襖や障子の張り替え・除草・片付け・荷造りなど
- 修理修繕  
簡単な大工仕事・ペンキ塗り・タキロン取り替えなど
- 事務整理  
賞状などの毛筆書き・封筒などの宛名書き・一般事務など

- 作業代金について、また、上記にない仕事でもこんなことができないかという相談がありましたら、下記センターへご連絡ください。
- 作業中に依頼主に損害を与えてしまった場合は、シルバー人材センターが責任を負います。

### □問い合わせ・申し込み

社団法人上田地域シルバー人材センター  
依田窪南部支所（長門町役場内）へ  
電話・FAX 0268(68)0888  
（支所長 高木博さん）

むかし肥後の国（今の九州）に阿闍梨興田（あじりこうた）というえらい和尚さんが住んでいました。信仰が厚く徳の高い和尚さんでしたから「私も長生きして多くの人を救おう。」と、毎日考えていました。

ある夏の暑い昼さがり、はるばる大門峠を越え大門の四泊にたどり着くことができた。和尚さんは肥後の国をでてから四日目に必ずここで泊まることにしていました。で、みんなが四泊と呼ぶようになりまし。

## 四泊の池

### 長門の昔話

さつそく旅の身支度を整え、月参といって毎月毎月お参りするにしました。海を渡り、けわしい山の峠道をお念仏を唱えながらひと月も欠かすことなく和尚さんの善光寺参りは続けられました。

て、いつものように池の中をのぞきこみました。いつもだと涼しくなるはずの和尚さんの体は、急に火がついたように熱くなりどうすることもできませ。仕方なく一心に念仏を唱え続けました。すると不思議なことが起こりました。水の面に映し出された和尚さんの姿はみるみるうちに蛇の姿に変わってしまいました。

見玉断

に映し出された和尚さんの姿はみるみるうちに蛇の姿に変わってしまいました。

池のほとりにたどり着いた和尚さんはほっと一息ついた。そしてそのまま「ザブン」と、大きな音を立てて池の底に消えてしまいました。それ

からはこの池をみんなが四泊の池と呼ぶようになりました。青く澄んだ池のほとりの松の樹には旅の笠が懸けてあり、その笠には、「この国は肥後の阿闍梨の四泊や其の名も高き笠懸の松」とあざやかに記るされており、それからみんなが笠懸の松と呼ぶようになりました。

（お話 内田 貢さん）

## 編集後記

梅雨も終わりに近づき、信州の空にも雷鳴が轟いています。信州で夏といえば高原を思い出されると思いますが、海のない信州に住んでいると夏は海に限りませ。子どもの夏休みにあわせながら海水浴の予定を組んでいると、予算オーバーでなかなか決まりませ。それでも子どもにせがまれ予約したときは、ほとんど空いていない状況で四苦八苦しています。

さて、はじめにお知らせしましたように当長門町の別荘地でも夏祭りとして「学者村祭り」「美し松祭り」が開催されます。こんな機会に都会を離れ高原の別荘地へ是非お出かけください。

また、国道142号笠取峠が全面開通となり、8月8日に開通式が開催されます。北信越自動車道で佐久インターチェンジからのアクセスがますます便利になりました。自動車だけが唯一の交通の手段となっている当町では、国道152号大門街道の整備も、順次進めていますのでご理解をお願いいたします。

最後に私事で恐縮ですが当係の担当となり4ヶ月を過ぎましたがなかなか慣れなくて皆さんにご迷惑をおかけしますが、よろしくお願いたします。